

講義コード	1048	科目区分	社会福祉関連科目
(フリガナ)	ケンリヨウゴトセイネンコウケン	(フリガナ)	イトウ タカシ
授業科目名	権利擁護と成年後見	担当教員名	伊藤 孝司
英文授業科目名			
基準年次(開講期)	2年生(前期)	履修形態	選択必修
曜日/時限/講義室	火曜日/2時限/314教室		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	「人権擁護感覚」		
授業概要・目的	①国民の基本的な人権はまさに憲法によって保障されている。 ② 国家による国民への福祉サービスの関係は行政法規によってなされている。 ③ 成年後見法の実態は、民法と任意後見契約に関する法律という特別法によって規律されている。 ④ 意思表示の補完とその関連は民法の総則編に、後見関連は親族編におかれている。 ⑤ 成年後見制度は法務省、裁判所、厚生労働省や社会福祉の領域の諸制度の解説に及んでいる。		
到達度評価の 評価項目	社会福祉士や精神保健福祉士は、日常的に何らかの援助を必要とする人々に接することになる。ともすると、「支援や保護」の名のもとに人権侵害をしてしまうということが起こりうる。相手の立場に立って考えることのできる鋭い人権感覚を身につけてもらいたい。		
授業計画			
第1回	相談援助の活動と法		
第2回	日本国憲法の理解		
第3回	日本国憲法の理解		
第4回	行政法の理解		
第5回	民法の理解		
第6回	民法の理解		
第7回	社会福祉関連法の理解、成年後見制度		
第8回	保佐の概要 補助の概要、申し立ての流れ		
第9回	任意後見制度、成年後見人等の義務と責任、成年後見制度の最近の動向と課題		
第10回	日常生活自立支援事業、成年後見制度利用支援事業、その他財政支援の活用		
第11回	権利擁護にかかわる組織・団体、権利擁護にかかわる専門職の役割		
第12回	成年後見の実際、認知症のある方・消費者被害を受けた者への対応の実際		
第13回	障害児・者への支援の実際、市町村長申し立てのケースへの対応の実際		
第14回	権利擁護活動の実際、被虐待児・高齢者虐待・アルコール等依存症への対応の実際		
第15回	非行少年・ホームレスの人・多問題重複ケースへの対応の実際		
教科書・参考書等	新・社会福祉士養成講座 第19巻「権利擁護と成年後見制度」 第4版 中央法規出版		
授業で使用する 機器等			
予習・復習への アドバイス	参考書:①伊藤真の憲法入門【日本評論社】 ②はじめての憲法総論・人権【尾崎哲夫・自由国民社】 ③はじめての親族相続【尾崎哲夫・自由国民社】 ④成年後見と身上配慮【上山奏・日本社会福祉士会筒井書房】		
履修上の注意・ 受講条件等			
成績評価の基準等	記述試験とします。100点満点で60点以上が合格		
メッセージ	社会福祉援助の実践に当たって、日常生活の中の民法はなくてはならない判断の指針になります。日々の生活の中で民法を意識してみましょう。		
オフィス・アワー			

その他	
-----	--